

## 《パスワードの設定と管理 1》

北海道教育委員会  
ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

### ネット上のパスワードの意義

Facebook、Twitter等のSNSサイトや、ネットショッピング、オークションサイト等は利用登録の際にパスワードの設定を行い、パスワードによって本人を認証することで、サイトに保存している個人情報を守ったり、別の人が勝手に使えないように保護しています。

パスワードの設定、管理がしっかりしていないと、[8月の資料](#)で説明したLINEの乗っ取りのような「不正アクセス」の被害に遭う可能性が増してしまいます。



ユーザーIDは自身で設定する場合と、登録したメールアドレス等が使われる場合があります。

### 注意すべき点



不正アクセスの手口の一つとして、よく使われているパスワードのパターンをとりあえず入力し、ログインできないか試みるというものがあります。以下のようなパスワードを設定している人がいますが、それは不正アクセスをする側からすると簡単に推測できてしまうものです。

- わかりやすい数字のみ羅列
- キーボードの左隅から右に6文字分
- 文字通り“パスワード”をアルファベットで

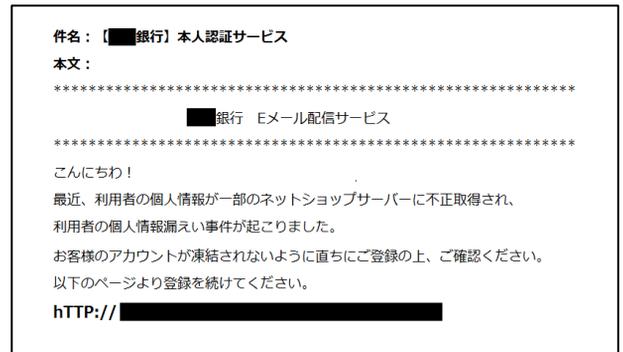


複数のサイトで同じパスワードを使いまわしている場合も危険です。不正アクセスが行われた場合、犯人がそのパスワードを使って他のサイトへのログインを試みることがあります。同じパスワードを使いまわしていると、ひとつのパスワードが知られてしまうだけで、他の利用サイトも不正アクセスの被害に遭ってしまいます。



銀行や企業を騙ったメールを送り、本物そっくりに作られた偽のサイトに誘導してパスワードを入力させようとする「フィッシング」と呼ばれる手口があります。

右が今年出回った銀行を騙るフィッシングメールの一例です。このようなメールを受信しても書かれてURLにアクセスせず、銀行や企業に直接確認するようにしましょう。



以下のような方法でパスワードを暴こうとする事例もあります。

警視庁サイバー犯罪対策課は、SNSサイトで他人のアカウントを乗っ取ったとして12歳の女子中学生を児童相談所に通告した。女子中学生はSNSサイトのゲームで知り合った男子中学生に「コイン(仮想通貨)をあげる」と持ちかけてIDとパスワードを聞き出した後、無断でそのパスワードを使い男子中学生のアカウントにアクセスして仮想通貨を盗み取っていた。

コインを渡すのにあなたのパスワードが必要だよ



パスワードはインターネット上の個人情報や資産を守る“鍵”です。また、外部からの脅威だけではなく、保護者の設定したフィルタリング機能のパスワードを、子どもが勝手に外してしまいインターネットをした結果、トラブルに巻き込まれてしまうというケースもあります。パスワードをきちんと設定、管理することがなぜ大切なのか、子どもと一緒に考える機会を作ってみましょう。

推奨される設定、管理の方法は次回の資料で解説します。